

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は定額法によっている。

(2) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,680,000	75,000	0	1,755,000
公益目的事業積立資産	5,600,000		700,000	4,900,000
記念事業積立資産	4,000,000	500,000	0	4,500,000
移転準備資金積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
合 計	16,280,000	575,000	700,000	16,155,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,755,000	0	0	1,755,000
公益目的事業積立資産	4,900,000	0	4,900,000	0
記念事業積立資産	4,500,000	0	4,500,000	0
移転準備資金積立資産	5,000,000	0	5,000,000	0
合 計	16,155,000	0	14,400,000	1,755,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,424,846	2,329,785	95,061
合 計	2,424,846	2,329,785	95,061